

昭和会 140名で賀詞交歓会

業界首脳が一堂に会す

新年恒例、首都圏昭和会(清水仁会長、35社)主催の賀詞交歓会が1月15日、東京ステーションホテルで開催され、全日本瓦工事業連盟や全国陶器瓦工業組合連合会の首脳、三州瓦をはじめとする屋根材メーカー、副資材メーカーなど約140名が一堂に会した。

冒頭、清水会長は神戸で阪神・淡路大震災を経験したエピソードを披露、「20年で屋根材も工法も進化した。エンドユーザーにしっかりと伝えていかなければならない」と訴えた。また「屋根や外壁の断熱改修も含まれる『住宅エコポイント制度』が復活される。この制度が我々の業界にとってまで良い影響があるか分からないが、市場活性化の一つと前向きにとらえ、取り組むことが必要」とあいさつ。

来賓あいさつで全瓦連の薄井幸夫理事長は「自然災害が頻発している。これからの業界には、危機管理能力が大事な要素になる」としたほか、「瓦

屋根の高級化を図るためにも、原点に返って問題機能を復活させなければならぬ」と語った。全陶連の野口安廣理事長は「昨年は復興住宅への瓦採用を働きかけたが、気づいたら関東で採用が減っていた。本当は瓦を採用してもらいたい。せめて勾配屋根にしなさい」と述べた。

「経済環境が大きく動いている。これを変動と見るか、変化と見るか。変動は耐え忍ぶしかないが、変化はその方向に沿っていかねばならない。変化の中にチャンスを見いだし、常に変わる必要がある」とした。

太陽光からの落雪で 協会に防止対策を要請

資源エネルギー庁

資源エネルギー庁は、このほど、太陽光発電システムのパネルから落雪事故を未然に防ぐため、太陽電池メーカーらで構成される太陽光発電協会に対応を図るよう要請した。同行が同協会に対して要請した要旨は、①積雪時の落雪の危険性、周辺

建物などへ損傷を与える可能性について、同協会会員や、発電事業を行っている者、および発電事業を行うおとする者に対して、再度注意喚起する②落雪事故防止対策について、パネルメーカー各社の工事説明書における項目を整理、同協会会員に対して周知徹底し、落雪事故防止に関する記載が

ない説明書については、当該メーカーに記載するよう促すこと、など。同行によると、屋根に設置したパネルに積もった雪が落下し、隣家の壁やカーポートの屋根を壊したり、自動車のボンネットを損傷させるなどの事例が報告されている。

同行では、パネルの表面は通常滑らかなガラスで覆われており、雪が積もると滑りやすい傾向にあり、また一般的な屋根と比べて落下速度が速くなることで、通常より大きな衝撃を与えたり、予想以上に速く落雪したりする可能性があるとしている。

研究会座談会は15時半から1時間半。座談会には建築研究所理事長の坂本雄三氏、東海大学名誉教授の石川廣三氏、近畿大学教授の岩前篤氏、(株)松尾設計室社長の松尾和也氏ら同研究会役員が参加、「長持ちする住まい」をテーマに、研究会の方向性も探る。問い合わせはセミナー事務局(06・4963・8266)まで。

瓦の放射線遮蔽効果

福島県内で行政も周知へ

福島県地域復興住宅推進協議会(田畑光三会長)と県建築士事務所協会組合連合会の桂山武会長

発表もあった。聴講した福島県瓦工事は①真鍮木材の安全性

は瓦に付着している放射性物質が話題になっていたが、これからは逆に瓦の遮蔽効果をPRできるようにとした。

桂山会長によれば研修材の放射線遮蔽率を比較

性部会(鈴木深雪委員長)が発表した。本紙12月8日号3面既報、同部会は昨年の日本建築士会連合会全国大会でも発表

建材を使った建物では、一定の条件下で39%の放射線を遮蔽する効果を確認している。また一般に、軽い材料より重い材料のほうが、薄い材料より厚い材料のほうが遮蔽

る。「住宅部門」は地域文化に根差し、新しいライフスタイルを実現する住宅作品が対象で、建築主、設計者、施工者などが応募する。また「地域

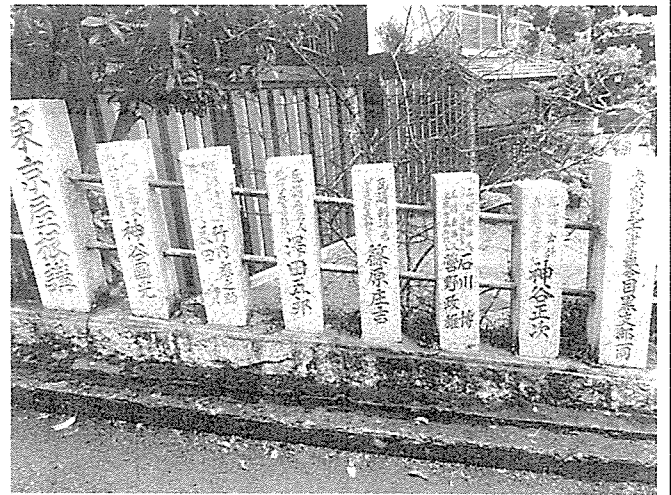
設計・施工、メンテナンスについての技術情報を普及させる。募集期間は3月6日まで。P.V施工技術者制度運営センターのホームページ

ハウゼコと 屋根換気研

19日にセミナーと座談会 (株)ハウゼコ(神戸陸史社長)と一般社団法人住

市ヶ谷カンファレンスセンター、申し込み先着順、無料。懇親会参加費は5千円。

ハウゼコ技術セミナーは13時半から2時間、研



かつて瓦講があった 昨秋は「高倉健」や「菅原文太」の訃報で昭和はあらためて遠く離れた感を深くしたが、写真は神奈川県伊勢原市の大山、豆腐ゆば会席「青木館」のそばにある玉垣、寄進した業界人の名前がずらり、懐かしい。狛犬の台座にも奉賛者名の刻印。かつて東京都大山瓦講を中心に節分祭、夏山などに業界人の参詣が盛んだった。間もなく節分、一度訪れてみてはいかが。



さらなる活性化を誓う